

＜参考＞ 評価区分について

区分	評価内容・基準
A	地方創生に非常に効果的であった ※現状値が目標値を上回ったなどの場合に選択
B	地方創生に相当程度効果があった ※現状値が目標値を上回ることにはなかったものの、相当程度（目標値の7～8割）達成した場合に選択
C	地方創生に効果があった ※現状値が目標値を上回ることにはなかったものの、事業開始前の数値より改善したなどの場合に選択
D	より一層の取組が必要 ※現状値が事業開始前の数値より悪化しているなどの場合に選択